

第一図工室

4年3組 大和 明日香

1. 題材名「のぞいて発見！」

2. 研究主題との関連

(1) 研究主題

「学びを創り続ける図画工作の授業」

(2) 教科の視点からめざす育てたい力

子どもが主体的に発想・構想の能力を働かせ、自分の思いや願いを表現しようとする力

3. 子どもが積み重ねてきた学び

題材「顔、カオ、KAO 見つけたよ」は、顔に見える形や組み合わせを見つけて風景から切り取る造形遊びである。児童は教室や運動場など、身近な場所から顔に見える形の組み合わせを探して回る。形や場所を組み合わせることができる題材設定をしたことにより、筆やトレイなどの偶然その場所に置いてあったものを斜めから見ることで顔に見立てたり、木や電気などの動かないものを下から見上げることで顔に見立てたりするなど、表し方の工夫が生まれた。

題材「うまれるよ すてきな物語」は、牛乳パックの箱の中に思いついた物語を工夫して、工作に表す活動である。導入時では、すてきな物語について考え、紅葉が並んでいる風景や妹の誕生日会、森の小屋で熊の親子が寝ているところなど、多様な発想が生まれた。次に、物語を表現するためにどのように牛乳パックを切ったり貼ったりすればよいかを考える際は、思いついたことが書かれた板書を見ることにより、「海の波の様子がわかりやすくなるように、横長の形に切ろう」「四季を並べて表したいから、牛乳パックの中にしきりをつけよう」など、思いついたことと牛乳パックの形を組み合わせながら、一人ひとりが思いをもつてつくっていった。また、「空にロケットを飛ばしたい」という思いから、ロケットが浮いているように見えるためにはどうすればいいか考えていた児童が、糸を使って浮かせることを思いついた。しかし、糸が見えてしまい浮いているように見えず、綿を使って糸を隠そうとしたが綿がうまく糸につかずに活動が止まっている姿が見られた。そこで、教師がコミュニケーションをとり、他の児童と関わりを促していくことで試行錯誤し、ロケットが飛んでいる様子を透明のフィルムを使うことで表現していた。このように、友だちとの交流を通して、新しい材料を教え合ったり、取り入れたりしながら表し方を工夫する場面も見られた。

これらの姿は、表し方の工夫や、場所を組み合わせることができる題材設定をしたり、交流の組織化をしたりすることによって、発想・構想の能力を働かせ、こだわりをもって活動に取り組んだ姿だと捉える。このような学びを積み重ねて、本題材を行う。

4. 本題材で期待する学び

本題材は、画用紙でのぞくことができる形をつくり、その形を活かしながら絵に表す活動である。

導入では、のぞくことの楽しさを感じ取ることができるように、1枚の画用紙を使って、どのようなのぞき方があるかを考える。筒型やトンネル型、上がひろがった形など、のぞくことができる形が多様にあることに気づき、自分のお気に入りの形を見つけてほしい。次に、その形の工夫から、のぞいた中に広がる世界を考えていく。子どもたちは想像したこと、体験したことなどを活かし、のぞくことができるものを想起することであろう。その思いついたことに合わせて、子どもたちは

前学年までに学んできた用具の使い方についての経験から、こだわりをもって表し方を工夫し、発想を広げていくと考えられる。さらに、鑑賞では工夫したのぞき方を活かすために、作品を場所と組み合わせることで、作品の置く位置や置き方についても考えさせたい。

活動が止まっている姿があった場合は、児童が思いついたイメージを交流し、一人ひとりがこだわった工夫や試み、用具の使い方の工夫を共感的に受け止め、寄り添うことでこだわりの継続を図りたい。また、イメージを視覚化した板書を活かすことにより、表し方の工夫や場所との組み合わせから、友だちの多様な発想に気づき、表したいことを深めていくことを願っている。この活動を通し、「この画用紙の曲げ方はおもしろいな」「この世界とのぞき方の組み合わせがすてきだな」という発見から、さらに次の学びを創り続ける姿を期待している。

5. 準備物

(子ども) 図工バッグ 小物入れ

(教師) 画用紙 歯ブラシ 金あみ トレイ ローラー 共同絵の具 ストロー 気泡緩衝材
 カッターマット カッター 落ち葉 段ボール

6. 題材の目標

○画用紙を使った多様なのぞき方を楽しみ、のぞいて見える世界に興味をもって取り組む。

(関心・意欲・態度)

○画用紙ののぞき方からイメージを広げ、表したいことを思いつく。(発想・構想の能力)

○自分の表したいことを表現するために、表し方や用具の使い方を工夫する。(創造的な技法)

○感じたことを話したり、友人と交流したりしながら、自分や友人の活動や作品のよさを感じ取っている。

(鑑賞の能力)

7. 題材の評価規準

	絵画への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
題 評材 価の 規 準	画用紙を使った多様な のぞき方を楽しみ、のぞい て見える世界に興味をも って取り組もうとしてい る。	画用紙ののぞき方か らイメージを広げ、 表したいことを思い ついている。	自分の表したいこと を表現するために、 表し方や用具の使い 方を工夫している。	感じたことを話したり、 友人と交流したりしな がら、自分や友人の活動 や作品のよさを感じ取 っている。
学 具習 体活 の動 評に 価お 規け 準る	①画用紙を折ったり、曲 げたりして、のぞく活動 を楽しんでいる。 ②見つけた画用紙ののぞ き方を活かして、のぞい て見える世界を表す活動 を楽しんでいる。	①画用紙の中ののぞ いた形から、表した いことを思いついて いる。	①自分の表したいこ とに合わせて、絵の 具などの用具の使い 方や表し方を工夫し ている。	①自分の工夫したとこ ろを話したり、友だちの 工夫しているところを 見つけたりしている。 ②友だちの活動や作品 から、それぞれのよさや 表し方の違いなどを感 じ取っている。

8. 本題材の指導計画 (全5時間 本時1, 2 / 5時間)

○第一次 画用紙の中ののぞいた形から、表し方や用具の使い方を工夫して、絵に表す。

(4時間 本時2 / 4)

○第二次 のぞき方を考えて作品を置き、作品を鑑賞して本題材の活動を振り返る。(1時間)